



平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社 大庄
 コード番号 9979 URL <http://www.daisvo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平 辰
 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	18,140	△1.6	△493	—	△518	—	△290	—
25年8月期第1四半期	18,428	△0.5	△210	—	△242	—	△261	—

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 △276百万円 (—%) 25年8月期第1四半期 △254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	△14.05	—
25年8月期第1四半期	△12.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期第1四半期	47,042	25,867	54.7	1,243.46
25年8月期	48,401	26,310	54.1	1,264.88

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 25,720百万円 25年8月期 26,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,250	1.8	630	6.1	585	9.3	150	212.5	7.25
通期	79,200	2.0	1,450	5.8	1,370	7.1	420	157.7	20.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期1Q	21,198,962 株	25年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	514,501 株	25年8月期	514,501 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期1Q	20,684,461 株	25年8月期1Q	20,684,574 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に円安や株高が進行する中で、輸出環境の改善による企業収益の拡大や消費支出の増加など、緩やかな景気回復傾向が見られました。一方、世界経済の動向としては、米国経済は堅調に推移したものの、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の停滞感など、依然として先行き不透明感が漂う状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における既存店舗対策」を最優先の経営課題として認識し、店舗オペレーション体制の再構築、店舗業態コンセプトの再構築並びにメニューの刷新、「ランチ市場」など新しい飲食需要の取り込み強化、集客アップに向けたイベント企画の充実を中心に様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開においては、店舗改装（業態転換を含む）を6店舗、店舗閉鎖を2店舗で行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.6%減少の18,140百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比98.4%と減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.5%減少の15,524百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.2%増加の953百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃貸物件が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.6%増加の251百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ4.4%減少の91百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ6.4%増加の1,319百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業損失は493百万円（前年同期は営業損失210百万円）、経常損失は518百万円（前年同期は経常損失242百万円）、四半期純損失は290百万円（前年同期は四半期純損失261百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて827百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,138百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は32,962百万円となり、前連結会計年度末に比べて531百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が449百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は14,203百万円となり、前連結会計年度末に比べて275百万円増加となりました。これは、未払法人税等が347百万円減少及び未払金が345百万円減少したことに対し、1年内償還予定の社債が1,000百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は6,971百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,191百万円減少となりました。これは、社債が1,000百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は25,867百万円となり、前連結会計年度末に比べて443百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや四半期純損失の計上等により利益剰余金が456百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社の事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期（9～11月）の収益構造としては、売上高が他の3四半期間に比べて少なく、利益面については構成比率が大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期（12～2月）の売上高及び利益構成が非常に大きなウエイトを持っております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,440	9,301
売掛金	2,611	2,528
商品及び製品	450	544
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	182	193
繰延税金資産	575	640
その他	949	1,069
貸倒引当金	△302	△198
流動資産合計	14,907	14,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,647	7,310
機械装置及び運搬具（純額）	332	345
工具、器具及び備品（純額）	691	678
土地	9,319	9,319
リース資産（純額）	1,315	1,202
建設仮勘定	3	3
有形固定資産合計	19,309	18,859
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	13	10
その他	164	162
無形固定資産合計	1,091	1,085
投資その他の資産		
投資有価証券	212	233
出資金	6	6
長期貸付金	61	139
差入保証金	7,288	7,166
敷金	4,374	4,365
繰延税金資産	961	1,012
その他	407	434
貸倒引当金	△219	△339
投資その他の資産合計	13,093	13,017
固定資産合計	33,493	32,962
資産合計	48,401	47,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,560	2,513
短期借入金	1,965	1,975
1年内返済予定の長期借入金	1,699	1,593
1年内償還予定の社債	2,452	3,452
リース債務	549	498
未払金	3,199	2,853
未払法人税等	459	112
未払消費税等	182	327
賞与引当金	233	120
株主優待引当金	97	74
店舗閉鎖損失引当金	16	14
訴訟損失引当金	78	—
資産除去債務	2	—
その他	431	668
流動負債合計	13,927	14,203
固定負債		
社債	1,550	550
長期借入金	2,126	2,033
リース債務	814	712
退職給付引当金	1,378	1,392
役員退職慰労引当金	547	556
受入保証金	557	551
資産除去債務	1,165	1,169
その他	24	7
固定負債合計	8,163	6,971
負債合計	22,091	21,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,577	8,121
自己株式	△602	△602
株主資本合計	26,509	26,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	103
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△346	△333
少数株主持分	146	146
純資産合計	26,310	25,867
負債純資産合計	48,401	47,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	18,428	18,140
売上原価	6,752	6,851
売上総利益	11,675	11,289
販売費及び一般管理費	11,886	11,782
営業損失(△)	△210	△493
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
受取損害賠償金	1	6
その他	17	15
営業外収益合計	22	24
営業外費用		
支払利息	36	29
貸倒引当金繰入額	3	1
その他	14	19
営業外費用合計	54	49
経常損失(△)	△242	△518
特別利益		
国庫補助金	—	42
受取補償金	—	127
訴訟損失引当金戻入額	—	78
特別利益合計	—	248
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	26	17
店舗関係整理損	4	1
減損損失	18	6
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3	—
固定資産圧縮損	—	42
特別損失合計	54	69
税金等調整前四半期純損失(△)	△297	△339
法人税、住民税及び事業税	74	74
法人税等調整額	△113	△123
法人税等合計	△38	△49
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△258	△289
少数株主利益	2	0
四半期純損失(△)	△261	△290

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△258	△289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	13
その他の包括利益合計	4	13
四半期包括利益	△254	△276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△256	△277
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,926	923	243	95	17,188	1,239	18,428	—	18,428
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6	2,640	150	—	2,796	251	3,048	△3,048	—
計	15,932	3,563	393	95	19,985	1,490	21,476	△3,048	18,428
セグメント利益又は損失 (△)	△47	166	81	73	274	10	285	△496	△210

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△496百万円には、セグメント間の取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において18百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,524	953	251	91	16,821	1,319	18,140	—	18,140
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	2,672	151	—	2,828	248	3,077	△3,077	—
計	15,528	3,626	403	91	19,649	1,567	21,217	△3,077	18,140
セグメント利益又は損失 (△)	△305	138	84	71	△11	21	9	△503	△493

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△503百万円には、セグメント間の取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△504百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において6百万円であります。

以上